

## 平成 30 年度事業報告書

### 1. 会議の開催等

種別	日程	会場	出席者数	決議事項等
監事監査	30 年 5 月 11 日	ハム・ソーセージ会館	監事 2 名	平成 29 年度業務執行状況、財務諸表及び財産状況の監査を実施した
理事会	5 月 25 日	決議の省略方式	理事 11 名 監事 2 名	1. 平成 29 年度事業報告及び収支決算の承認に関する件 2. 平成 29 年度公益目的支出計画実施報告書の承認に関する件 3. 第 7 回定時総会の招集に関する件
理事会	6 月 22 日	ハム・ソーセージ会館	理事 9 名 監事 2 名	第 7 回定時総会提出議案について ① 平成 29 年度事業報告及び収支決算承認等に関する件 ② 平成 30 年度事業計画及び収支予算報告に関する件 ③ 役員の選任（補欠）に関する件 ④ 常務理事報酬最高限度決定の件
総 会	〃	〃	委任状含め 14 名	1. 平成 29 年度事業報告及び収支決算承認等に関する件 2. 平成 30 年度事業計画及び収支予算報告に関する件 3. 役員の選任（補欠）に関する件 4. 常務理事報酬最高限度決定の件
理事会	〃	〃	理事 9 名 監事 2 名	役員の役付互選に関する件
広報 委員会	8 月 2 日	ハム・ソーセージ会館	委員 6 名	平成 30 年度食肉情報等普及・啓発事業の計画内容を協議した
広報 委員会	8 月 29 日	〃	委員 5 名	第 1 回委員会の協議結果を踏まえ、平成 30 年度食肉情報等普及・啓発事業の実施内容を協議した

種別	日程	会場	出席者数	決議事項等
理事会	31年1月29日	浜松町東京會館	理事8名 監事2名	1. 平成30年度上期決算並びに事業推進状況について 2. 平成30年度低炭素社会実行計画の評価・検証(平成29年度実績)等について 3. その他 平成30年度第5回理事会について
理事会	3月28日	ハム・ソーセージ会館	理事8名 監事2名	1. 令和元年度事業計画及び収支予算について 2. その他 2-1 協会業務あり方検討会の立上げについて 2-2 協会職員の就業規則の一部改正について 2-3 令和元年度理事会及び定時総会について

### (1) 理事会

定款第33条に基づき、前記のとおり理事会を開催し、提出議案について審議し、異議なく可決承認された。

### (2) 総会

定款第13条に基づき、前記のとおり定時総会を開催し、提出議案について審議し、異議なく可決承認された。

### (3) その他の会議等

関連団体等との連携を密にして食品関連団体等連絡協議会等（食品産業センター）、食肉団体幹部会（日本食肉協議会）、JAS協会連絡協議会（日本農林規格協会）等の会議から情報を収集し、事業推進、会員への情報提供等に利用した。

## 2. 公益目的支出計画実施報告書等の提出について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定に基づき、平成30年5月30日付けで、平成29年度公益目的支出計画実施報告書等を内閣総理大臣に提出した。

### 3. 会員に関する事項

期別	会員数
平成30年4月1日現在	会員数 16 (うち賛助会員2)
新規加入者	0
退会者	0
平成30年3月31日現在	会員数 16 (うち賛助会員2)

### 4. 事業の実施概要

前年度に引き続き、食品の安全性確保の根幹をなすコンプライアンスの徹底を図るとともに、安全・安心な品質の保証、ハンバーグ・ハンバーガーに関する正確な情報及び知識の普及啓発に加えて、環境対策等の事業推進を図る計画に基づき、会員各社及び関係各位のご協力のもと、以下の事業を実施した。

#### (1) 検査事業

食の安全と安心、食と健康に対する消費者の関心の高まりに対応し、消費者の食品への信頼の確保・向上に資するため、コンプライアンスの徹底を図るとともに、関係団体等と相互協力し、ハンバーグ・ハンバーガー類の品質の保証と向上を図るため、国のJAS制度及び自主制度による検査事業を的確に実施した。

平成30年度の会員合計の生産販売実績は、ハンバーグ類が49,019トン(対前年比99%)、ハンバーガー類が204,445トン(同99%)であった。また、ハンバーガー店舗数は、新規認定の17店(対前年度比130%)を加え、合計4,232店(同100%)で、これらの検査の内訳は以下のとおりであった。

(一社)日本食肉加工協会が開催する「HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)」等、関連説明会、講習会の開催案内を発信した。

#### ① JAS 検査

期末の認定工場数は、ハンバーガーパティ3、チルドハンバーグ5、チルドミートボール1の計9工場である。格付数量は、チルドハンバーグステーキ1,599トン(対前年度比94%)、ハンバーガーパティ32,562トン(同103%)及びチルドミートボール4トン(同3,979%)であった。(検査は、JAS登録格付機関・登録認定機関の一般社団法人食肉科学技術研究所が業務分掌契約で実施。)

#### ② 自主検査

自主規格の格付検査は、フィッシュポーションが2,849トン(対前年度比110%)、店舗におけるハンバーガー製品検査が572件(同100%)であった。(検査は、一般社団法人食肉科学技術研究所へ委託。)

### ③ 店舗衛生診断

ハンバーガー店舗の衛生診断は84店舗（前年度比100%）であった。（衛生診断は、厚生労働省登録検査機関の一般財団法人日本食品検査へ委託。）

## （2）調査広報事業

関係機関・団体等と連携を密にしてハンバーグ・ハンバーガー類に係る食肉生産、流通、栄養、健康、安全確保、表示等の正確な情報を収集・整理し、冊子、協会機関誌「会報」、協会ホームページ等により消費者、消費者団体等への普及啓発に努めた。

また、公益社団法人日本食肉協議会の「食肉情報等普及・啓発事業」の助成を受け、次の催事出展等の事業を実施した。

### ① 催事出展による普及啓発

ちくさんフードフェア実行委員会主催の『第37回ちくさんフードフェア』（平成30年10月6日（土）・7日（日）、川崎市の公益財団法人日本食肉流通センター施設内で開催）及び、農林水産省・公益財団法人日本農林漁業振興会共催である『第57回農林水産祭 実りのフェスティバル』（平成30年11月2日（金）・3日（土）、豊島区のサンシャインシティ ワールドポートマートビル 展示ホールで開催）に出展し、「チルドハンバーグ類の表示について」等のパネル展示による説明、アンケート実施及び普及啓発資料の配布、試食等により消費者に対してハンバーグ・ハンバーガー類に係る品質管理・表示等に関する情報などの知識を普及啓発した。協会ブースへの来場者は、合わせて約5,000人であった。

### ② 食肉関係等情報知識広告

#### ア. 雑誌等広告

幅広い年代層の消費者にハンバーグ・ハンバーガー類の表示・品質管理等の情報知識を普及啓発するため、NHKの料理番組テキスト「きょうの料理 ビギナーズ（発効部数約32万部）」2月号（平成31年1月21日発売号）及び「きょうの料理（同約12万部）」3月号（平成31年2月21日発売号）に1頁の普及啓発広告を掲載した。

## イ. 冊子の作成・配布

一般消費者向けのハンバーグ・ハンバーガー類に係る知識・情報の普及啓発資料として冊子「みんな大好き!! ハンバーグ・ミートボール、ハンバーガー2018」を6,000部作成し、催事会場来場者や都道府県消費者センター等に配布した。

### (3) 環境対策事業

環境対策情報、節電等エネルギー対策情報の収集、伝達等を行うとともに、ハンバーグ業界の低炭素社会実行計画に係る平成29年度フォローアップ調査を実施し、その調査結果を農林水産省へ報告するとともにホームページ等で公表した。

また、農林水産省の依頼を受け（公財）食品流通等合理化促進機構が行う「食品産業の地球温暖化・省エネルギー対策促進事業」に協力、関係会員に対し、エネルギー使用に係る実態調査アンケートを実施した。

### (4) 連絡・調整等事業

T P P 11、日 E U ・ E P A については、それぞれ3月7日に署名され、発効の時期が見通せる状況となったことから、8月28日（一社）日本食肉加工協会、日本ハム・ソーセージ工業協同組合と協力して、農林水産省の担当官を講師としてT P P 11、日 E U ・ E P A に係る説明会を開催した。

また、本業界の発展向上に係る会員情報、行政情報等を収集・整理し、協会機関誌「会報」、FAX、メール、ホームページ等により会員、関係機関・団体への円滑な伝達を行うとともに、行政機関等からのコンプライアンスに係る調査対応等に努めた。

この他、（公社）日本食肉協議会の委託を受けて、ハンバーグ・ハンバーガーパティ類の生産量、原料食肉使用量の調査を実施している。

### (5) 食肉加工施設等整備リース事業

（独法）農畜産業振興機構補助事業は、平成29年度（2018年度）に終了している。現在は継続貸付物件の貸付料・納税等の管理を実施している。